会　議　録（確定稿）

会議名称	第三次西東京市地域福祉活動計画　第 14 回（臨時）策定委員会
日　　時	平成 26 年 2 月 12 日（水）午後 7 時～9 時
会　　場	田無総合福祉センター3 階第 1 会議室
出 席 者	（策定委員） 熊田委員・内田委員・髙梨委員・陸名委員・伊佐委員・田谷委員・白倉委員 三輪委員・畠山委員・鵜澤委員・小松委員・田中委員・成田委員 （事務局） 栗山・齊藤・丸木・鈴木・鵜野・妻屋・長谷川・関根・利光・廣瀬 （コンサルタント） 田口
欠 席 者	岩崎委員・髙橋委員・土方委員・尾崎委員　　事務局 八阪
会議次第	＜次第＞ 1.　委員長挨拶 2.　資料確認 ＜議題＞ 1.　具体的活動内容～アクションプランの落とし込みについて（グループワーク） 2.　その他
配付資料	＜事前配付資料＞ 資料 1：今後の計画検討の流れ 資料 2：第三次地域福祉活動計画の体系（案） 資料 3：グループワーク資料（落とし込みシート） 資料 4：グループワーク資料（1/28 模造紙）
結　　論	**◆決定事項** 1．　グループワークで討議した「具体的な活動内容」・「アクションプラン」については、次回委員会で内容を決定する。
	＜次第＞ 事務局より、開会の挨拶に続いて、欠席委員の報告を行った。 **1.委員長挨拶** 委員長：先日、被災地の東松島市へ訪問する機会があり、地域のつながりの大切さを改めて感じた。本日のグループワークでは、アクションプランへの落とし込みを行うこととなっている。引き続き、委員の皆様のご協力をいただきたい。

2.資料確認

事務局より、当日の資料確認が行われた。

＜議題＞

1. 具体的活動内容～アクションプランの落とし込みについて（グループワーク）

事務局より、今後の計画検討の流れ、本日のグループワークの進め方について説明を行った。

～～～グループ討議～～～

グループ討議の結果発表

［A 班］

委　員：基本目標 1「“おたがいさま”が活きているまち」について、お互いに頼みやすい関係をつくる、という意味について、グループの中で改めて確認した。3 つのアクションプランについては、まずは「プロジェクトチームを立ち上げる」ことが重要という結論になった。そして人材を探し、その方たちの意欲を具体的な活動につなげていくことが大切であることを共有した。また、この 3 つのアクションプランが相互に結びつき、「“地域スカウトキャラバン”をつくる」というアクションが、他 2 つの具体的な活動内容（「地域の人とうどんをつくる」・「今つながりのある人と防災マップをつくる」）につながることも、議論の中で見出された。

［B 班］

委　員：基本目標 2「みんな笑顔でくらせるまち」の具体的な活動内容「様々な団体をあつめて企画ができるように環境を整備する」は、他のグループと比較して具体的に何をやるかが伝わりにくい、との意見を踏まえ、具体性を表現し、団体や個人も区分けすることなく、誰もが参加できるイメージから「様々な人が一緒にイベントができるように、アイディアを出すための話し合いを開く」と表現を変更した。取り組みとして、まずは①既存の団体を洗い出し、②既存の活動にお互いに参加したり連携したりするように取り組み、③お互いに知り合う機会を作り、④合わせて活動の中心になるリーダーの意識付けを行って、⑤地域に活動を広げていくという流れを考えた。

基本目標 3「「一歩前へ」を後押しできる情報があるまち」の具体的な活動内容の「回覧板の再活用」の目的は、「ひとりひとりがいきいき生きられるために」ということなのではと確認した。その上で、①回覧板の現状を知り、②大学と協働して学生のアイディアや力を得て、③商店街や神社・お寺等の協力も得ながら、④回覧板コンテストやクーポン等を載せる事業者と連携をしていくという流れを考えた。

西東京市のフェイスブック活用は、事前に寄せられた、たたき台についての議論を考えていたが時間がなく、次回に継続議論することとなった。

	［C 班］ 委　員：基本目標 4「家族のようなつながりのあるまち」の具体的な活動内容について、これまで検討してきた「お世話焼きさんグループを作る」については、「誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる」に統合することになった。「誰もが気軽に立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる」のアクションプランについては、1 年目から活動を行い、検証・考察を行いながら、例えば、１年目は１つ・3 年目は 3 つ・5 年目で 9 つの居場所が全市単位で増えていくということを話し合った。 目標 5 の「一人ひとりがイキイキできるまち」のアクションプランについては、次回までにまとめていくこととする。内容としては、地域のタレント（活動している人）を発掘し、地域に広く紹介しながら活動者を増やしていくことを考えた。「この人がいるおかげで雰囲気が明るくなる」「いつもまちのそうじをしてくれている」方などを、地域のお祭りの中で表彰する企画を行っていきたい。その積み重ねを通して、市民の皆さんが自分たちも地域に貢献している、輝いていると気づいていただけるような企画内容を検討していきたい。 事務局：目的は違っても、取り組み内容について共通する部分については、次回の委員会にて協議をすることとする。 **2.　その他** 事務局より、次回の委員会開催について通知を行った。 ・次回委員会日程：平成 26 年 2 月 25 日（火）午後 7 時～ 田無総合福祉センター2 階　視聴覚室 以上